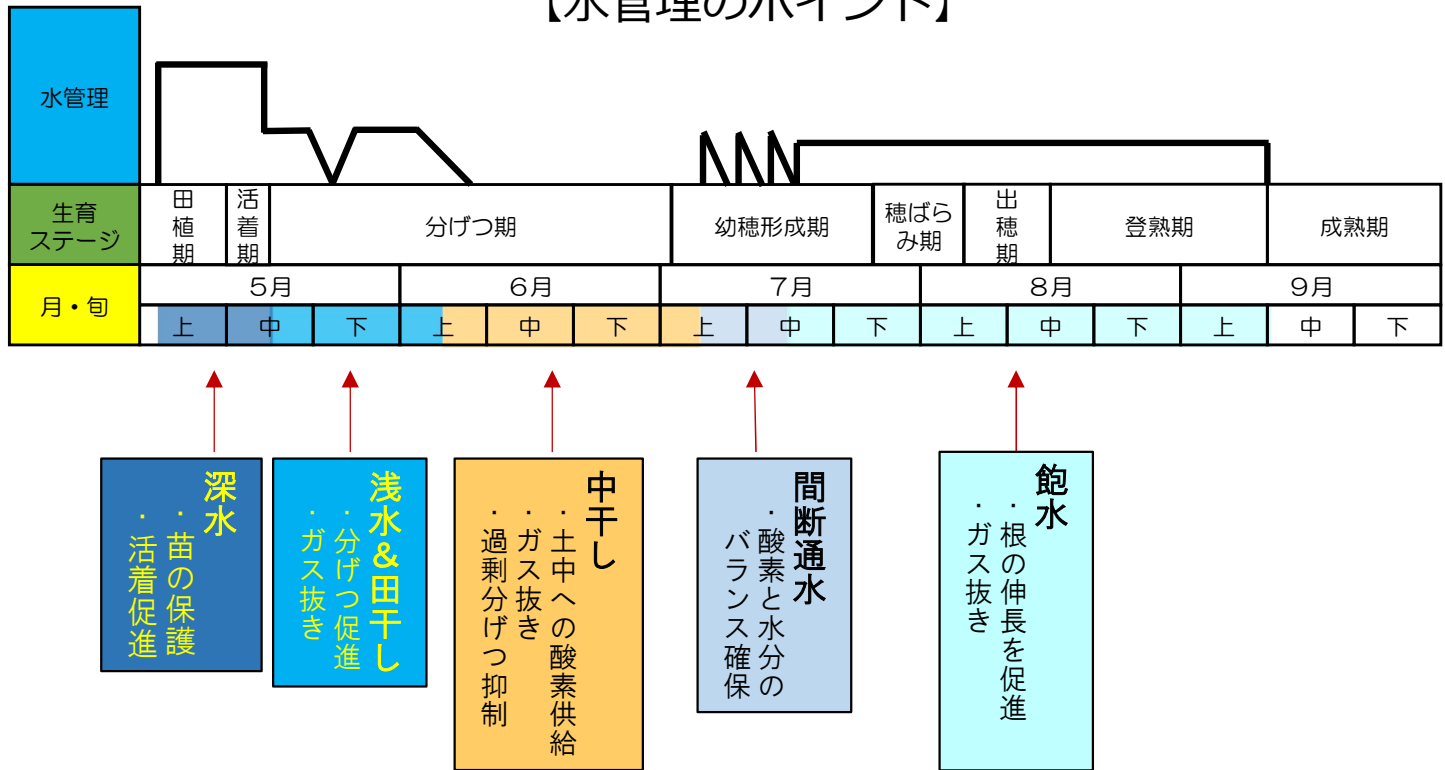


ひやくまん穀通信

【水管理のポイント】



1 田植え後の水管理

重要！

(1) 浅水管理で初期分げつを促進

- ・活着(新根が発生する田植え2～3日後)までは深水管理で植え傷みを防ぐ
- ・活着後は、浅水(水深3cm程度)にする。
- ※除草剤を田植え同時処理した場合は、処理7日後から浅水管理

(2) 低温・強風時は苗が水没しない程度に深水とし、苗を保護する。

(3) 中干しまでに2～3回『田干し』を行い、土壌への酸素供給とガス抜きをし、根の健全化を図る。

田植え1ヵ月後～

2 中干しの実施

- (1) 田植え後、概ね1ヵ月(茎数13～15本)で中干し開始(落水開始)。
- (2) 中干しの効果
 - ① 土壌のガス抜きと酸素供給で根の伸長を促進する
 - ② 過剰分げつを抑制することで穂揃いを良くし、登熟の促進を図る。

3 中干しの期間と程度

★中干し期間の目安は6月5日～7月5日！

○中干し管理徹底
(穂揃いが良い)



×中干し管理不徹底
(穂揃いが悪い)



中干し期間中に、

※溝切りで、排水・通水を
スムーズにする。

※ひび割れができたら適宜
通水し、ひび割れが大き
くなりすぎないように管理
する。



図 湿田における中干しの様子

4 飽水管理について

中干し終了後は、足跡に水があり田面が湿った状態（飽水管理）
を保ち、
登熟不良を防ぐため、収穫5日前まで継続する。

問い合わせ先 J A O O （電話：〇〇〇-〇〇〇〇）
南加賀農林総合事務所農業振興部（電話：0761-23-1703）
加賀農林総合事務所（電話：0761-72-8511）